

●学校給食センター 建設に向けスタート

第1回三芳町学校給食センター建設検討委員会が、7月20日開催され、センター建設に向けてスタートしました。

現在の給食センターは、昭和47年に建設されて以来、増改築を経て37年が経過しています。老朽化が進み、建て替えが急がれる中、小中学校長、小中PTA会長、教育委員、議会、学識経験者13名からなる検討委員会が設置されました。

第1回の委員会では、今までの経過報告と、各学校に給食施設を設置する自校方式ではなく、8校の小中学校の給食を1つのセンターで賄うセンター方式を採用することが、町長から検討結果報告

によって確認されました。

検討委員会の所掌事項は、①建設の運営方式②新施設の建設計画③附帯設備の整備計画に関することなどです。今後のスケジュールは、先進地視察も含めて4回の会議を重ね、来年2月に検討結果を町長に報告することになっていきます。ただし、事業手法（公設公営、公設民営、PFI方式等）や基本設計、実施設計も、当委員会の検討課題となっており、委員会の回数や報告時期も変更になる可能性もあるようです。

主な課題として、
①現在の給食センターの敷地は借地であり、拡張が難しく、新たな用地を求めなければいけないこと。（用地選定は執行部で行う）
②学校衛生管理基準に適合するドライ方式によって建築を行う場

●消防本部庁舎建設審議会の答申まとまる

入間東部地区消防組合（富士見市、ふじみ野市、三芳町）の消防本部庁舎等建設審議会は、管理者から消防本部庁舎建設及び消防通信指令装置更新の一体整備に係る用地の選定について諮問を受け、答申がなされました。

現在、消防通信指令装置は耐用期間が限界に達し、消防本部庁舎も老朽化し建て替えが急がれています。今後、消防・救急無線のデジタル化が平成28年に実施されるなどの課題もあります。

さて、答申の内容は、
①用地の選定については、国道254号線大井総合支所入り口西側方面が妥当であること。

②建設する庁舎は、中央消防署大井分署の統廃合を視野に入れ5

台、建築基準法等諸法令の基準や緑地、職員駐車場等を配慮すると、およそ5000㎡の土地が必要であること。

順調に進めば、平成23年度、基本設計、実施設計の実施、用地取得、24年度、工事着手↓25年3月竣工、25年度、新設学校給食センターの供用開始となります。



現在の給食センター（食器の洗浄作業中）

★町政報告会 開催される！



7月16日、林いさお後援会主催の林いさお町政報告会が開催されました。今年で3回目になります。6月議会報告を中心に、議会基本条例、議員政治倫理条例の制定、一般質問、補正予算、そして町の課題等について報告をしました。

参加者より貴重なご意見を多数いただきましたので、今後の活動にいかして参ります。

今後は、消防議会の中でしっかりと推移を見守り、チェックしていきたいと思えます。